

令和元年度第1回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会

1 日 時 令和元年7月6日(土) 午前10時から午前12時まで

2 会 場 調布市文化会館たづくり9階 研修室

(東京都調布市小島町2丁目33番地1)

3 出席者 利用者 10人

事務局 10人

<調布市>

佐々木文化生涯学習課長補佐

<公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団>

吉田常務理事、土方理事、阿部事務局長、木村企画課長、

土井文化・コミュニティ事業課長、藤堂芸術振興事業課長

常廣企画課長補佐、大割企画課副主幹

岡野芸術振興事業課副主幹

4 資 料

平成30年度第2回たづくり・グリーンホール利用者懇談会

(平成30年11月1日) 要望事項等対応表【平成30年10月18日現在】

《次第》

1 開会

2 財団挨拶 吉田常務理事

3 出席者紹介 調布市及び財団出席者の紹介

4 連絡事項 発言者の注意事項

5 懇談

6 閉会

○木村企画課長

それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和元年度第1回たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場利用者懇談会を開会します。

進行については、お手元に配布した利用者懇談会の次第に沿って進行します。

初めに、本日の配布資料を確認します。利用者懇談会次第です。平成30年度第2回たづくり・グリーンホール利用者懇談会要望事項等対応表です。ほかに、机上に出席者表があります。

続いて、常務理事の吉田よりご挨拶申し上げます。

○吉田常務理事

おはようございます。常務理事の吉田です。

本日は、お忙しい中、今年度第1回目となります利用者懇談会にお越しいただき、ありがとうございます。

先日、第7回目となります調布国際音楽祭が開催され、世代を超えて多くの方にご参加いただきました。今回は、鑑賞者としてだけでなく、演奏家としてもご出演いただくなど、音楽祭の裾野の広がりを感じているところです。これも、皆様に日頃から財団の運営にご理解をいただいているおかげと本当に感謝申し上げます。

財団は、今年度からグリーンホール、文化会館たづくりの10年間の指定管理に加え、せんがわ劇場の5年間の指定管理者として、また、令和元年度からの10年間の基本計画の初年度として新しいスタートを切ったところです。これまで以上に利用者中心の施設の貸出や維持管理に努めることを明確に位置づけ、3館が連携することで、調布市の芸術・文化、コミュニティが大きく推進されることを目標に仕事に励んでいるところです。

また、車椅子利用の方や、視覚、聴覚など、利用に障害のある方へも安心して施設をご利用いただき、また事業にも参加していただけるよう、当事者の声を聞きながら、職員のスキル向上に励んでおります。

まだまだ足りない部分も多いかと思いますが、このような懇談会や窓口、メール、ご意見箱など、さまざまなおところから寄せられるご意見をもとに、改善を積み重ね、施設を気持ち良く利用してもらうために、可能な限り対応させていただきたいと思っております。

本日は、日頃から皆さんが感じられていることや要望なども含めまして、忌憚のない、有意義な意見交換ができればと思います。どうぞよろしく申し上げます。

○木村企画課長

出席者紹介をします。最初に、調布市側の出席者から紹介します。生活文化スポーツ部文化生涯学習課・佐々木課長補佐です。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

文化生涯学習課の佐々木と申します。今日はよろしく申し上げます。

○木村企画課長

次に、文化・コミュニティ振興財団の出席者です。

常務理事の吉田です。

○吉田常務理事

吉田です。よろしく申し上げます。

○木村企画課長

理事の土方です。

○土方理事

土方です。よろしく申し上げます。

○木村企画課長

事務局長の阿部です。

○阿部事務局長

この4月に事務局長に着任しました阿部と申します。よろしく申し上げます。

○木村企画課長

文化・コミュニティ事業課長・土井です。

○土井文化・コミュニティ事業課長

土井です。よろしく申し上げます。

○木村企画課長

芸術振興事業課長・藤堂です。

○藤堂芸術振興事業課長

藤堂です。よろしく申し上げます。

○木村企画課長

企画課長補佐・常廣です。

○常廣企画課長補佐

常廣です。よろしく申し上げます。

○木村企画課長

企画課副主幹・大割です。

○大割企画課副主幹

大割です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

芸術振興事業課副主幹・岡野です。

○岡野芸術振興事業課副主幹

岡野です。よろしくお願いします。

○木村企画課長

最後に、本日、進行を務めます企画課長の木村です。どうぞよろしくお願いします。

続いて、連絡事項です。この懇談会に際してのお願いなど、連絡事項が3点あります。

1点目、お手元に配布してあります出席者票に記入をお願いします。特に座席番号の記入忘れのないように、お帰りの際には机の上に伏せてお帰りください。住所欄には町名のみで結構です。もしくは所属団体名の記入、そして氏名のご記入をお願いします。

2点目、この懇談会では情報公開用の会議録作成のため、録音をさせていただきます。これを要約した形でホームページに公表し、また、財団報「ぱれっと」には抜粋した形で掲載します。なお、発言者の氏名は公表しません。

3点目、この会の終了予定時刻は正午までとさせていただきます。

初めてご参加される方もいらっしゃると思いますので、利用者懇談会について説明します。

日頃、たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場を利用されている方々と意見交換し、お寄せいただくご意見などにより、より良い運営を目指すことを趣旨としています。スムーズな進行を心がけますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

それでは懇談に入る前に、昨年11月に行った利用者懇談会でのご意見などに関するその後の対応確認をします。本日の配布資料、要望事項等対応表の右側の欄に、太字下線で令和元年6月22日現在と記した対応状況の部分についての確認です。

それでは、該当項目を読みあげます。1ページ目のNo.1です。「グリーンホールのあり方について、利用者の意見を聞く場を設けるとのことですが、具体的な日時は」ということについて、「今年度末に、グリーンホールの整備方針を策定することとしており、策定に当たっては、具体的な日程は未定ですが、市民の皆様との意見交換を予定しておりま

す」

めぐりまして、2ページ目、No.5「施設改修については、他の施設の事例を参考にしながら、利用者の意見をよく聞き、長期的な視点を持って対応してほしい」というご指摘について、「市の公共施設については、調布市公共施設等総合管理計画及び調布市公共建築物維持保全計画に基づき、適切かつ計画的な維持保全に取り組んでおります。その中で、個々の改修に当たっては、利用者からのご意見や先進事例などを踏まえた改修に努めて参ります」

ご指摘のNo.9及び10、文化会館たづくり内で、土日祝日を含めた昼食の販売に関する取組の依頼について、現状においては、「事業所に確認した結果、土日祝日、特に日曜日は従業員が休みとなり、現状では難しい状況です」

それでは、ここからは、お一人ずつ、先ほどの要望事項等対応表についての御質問を含めまして、ご意見などをいただきたいと思っております。本日参加いただいた出席者の皆様全員からお話を伺いますので、全員の方がお話しする時間がとれるよう、時間を配分しますことをあらかじめ御了承ください。発言にはお名前をお願いします。

それでは、座席、時計回りの順番でお願いしますので、私から見て左側、Jのお席におかけの方からお願いします。

○J

私は、ギターサークルに所属しています。現在、ギターサークルの会員数は15名です。月2回、音楽室や創作室を使って練習しているのですが、文化祭の前になりますと、9月、10月は毎週練習します。音楽室を使える人数が15人までと決まっていますが、今、会員数が15人なので、もう一人増えると音楽室は全く使えない現状になります。ギターサークルは一応音楽サークルですが、音楽室はまず使えません。

それと、創作室を使えるようになりましたが、第1創作室は何もないので、譜面台を置いたり、折り畳みの椅子を設置して、みんなで演奏の練習ができるのですが、第2創作室は、陶芸のための部屋なので、大きな木の机とブロックの椅子が設置してあって、譜面台とか折り畳みの椅子を置く余裕がありません。

結局、今、私たちがたづくりで申し込める貸出施設は、第1音楽練習室、第2音楽練習室、第1創作室、第2創作室の4つです。でも、第2音楽練習室はやめたいので、実際には3つ。私たちよりもっと人数が少ない音楽サークルの方が音楽練習室を申し込むので、結局すごい競争率らしく、なかなか当選できない現状があります。

金曜日が私たちの練習の日ですが、音楽関係で、ほかの日を使っているかどうかを調べたことがあります。そのときに、ハーモニカをやっている方で10階の部屋を使っている方がいました。ここの部屋なのかもしれないのですが、ほかの部屋がもし使えるものでしたら、そのことを要望したいと思って今日来ました。何とかしていただけたらと思います。

○大割企画課副主幹

おっしゃっているのは、おそらく9階の研修室のことか、あるいは私どもが公式には認めていないところで何となく行われているかもしれないのですが、15人以上でギターという音漏れがしますので、現状ではお応えするのが難しいかなと思います。ただ、実際、音漏れするかどうかの実験を試みる手もありますので、ご相談いただければと思います。

○J

私たちが第2創作室を使っているときに、第1創作室で、音は出ないのですが、すごい振動が伝わってくる場合があります。だから、音だけではないと思います。私たちは、年齢が結構高いサークルなので、余り大きな音を出して演奏もできないので、どの部屋でも良いのですが、できれば、もう1つか2つ、申し込める部屋が欲しいと思っています。

○大割企画課副主幹

15人というのは少し多いかなという感じがするので、人数にもよるのですが、個別にご相談いただければと思います。

○J

よろしくをお願いします。

○木村企画課長

ありがとうございました。それでは、Kのお席におかけの方をお願いします。

○K

Kと申します。よろしくをお願いします。

前回は参加させていただきまして、前回の対応表ということで、8番の利用時間について相談した者ですが、たづくりの条例で規定されているので、見直す予定はないという答弁を今知りました。条例で決まっているということであれば、こちらで相談してももうどうにもならないのかなと思います。

逆に、少しお伺いしたいのは、たづくりの条例に対しての働きかけという方法はあるのでしょうか。

たづくりの条例で時間が規定されているので、こちらで相談差し上げても対応できない

という回答をいただいています。であれば、条例に訴えかけるというか、希望を出す手だてだとか、方法は何かあるのでしょうかという質問です。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

条例は、市議会で議決されているかなり重みがあるものなので、なかなかそう簡単にはいかないと思いますが、可能性はゼロではないかなと。

○K

市への意見を訴えかけていくという形になるのでしょうか。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

はい。

○M

陳情も出せるのではないですか。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

議会に陳情を出すという方法もありますね。

○M

いくら条例があっても、それが市民にとって不都合であれば、その部分を陳情させていただくと。

○K

別にごねるつもりはもちろんないのですが、同意見の方がどの程度いるかも分からないので、その方法は考えなければいけないと思います。

わずか30分のことですが、使う側としては、もう少し時間があると良いかなと毎回思っています。また、ここに似たような公共の施設などでも、多くのところは17時までという時間帯が多いと思っています。調布市以外で参加する場合もあるのですが、多くの場合は、午後13時から17時というところが多くて、16時半で終わるのは、ほかには見たことがないので、調布市のホームページを見て、条例改定に向けてというところは模索したいと思います。分かりました。では、いただいたご意見を参考にさせていただいて、別の方法を考えてみたいと思います。

○木村企画課長

ありがとうございます。それでは、Mのお席におかけの方お願いします。

○M

Mと申します。前回の対応表の中で、9番、10番にある、土日祝日を含め、昼食を手

軽に販売してもらえる取組についてです。というのは、市役所の食堂がなくなってしまったので、たづくりに一日いる場合など、昼食難民になってしまうことが多いのです。ここで回答としては、「事業所へ確認した結果」とあるのですが、事業所とはどこのことですか。

○土方理事

まず2つありまして、たづくり1階のレストランでは、土日でもパンとかサンドイッチをたくさん作ったことがあるそうです。しかし、あまり売れなかったとのこと。

現在も数は少ないですが販売しています。需要があれば対応するようです。

次に、福祉事業団に確認したところ、従業員を休ませなければいけないので、特に日曜日に作って持ってくるということはなかなか難しいとのこと。

○M

では、引き続き模索してくださるということですか。

○土方理事

そうですね。今回そういう話があったので、もう一回話してみます。

○M

一般に公募すれば、手を挙げるところは多いのではないかと思います。実際、福祉作業所で、隣のビルにすまいるのパン屋さんが入っています。何しろ市民が不自由していて、お昼をどうしようということが非常に問題になったりします。

○土方理事

市役所の食堂は、今はないのですよね。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

ないです。

○土方理事

そのかわりの自動販売機みたいなものもないですか。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

土日は、どちらにせよ開いていないのですが、市役所2階の正面玄関入って左側に、みずほのATMがあります。その横に、おにぎり、パンといった軽食が買えるような自動販売機が置かれました。

1階にはまだ売店がありますが、8月30日以降は免震工事の関係で中止せざるを得ない状況です。



○M

強い希望なのですが、大事なことは、私たち駅前広場のことをやっていると、旧タコ公園のところ、旧自転車駐輪場予定地の上にグリーンホールの階段がありまして、地下駐輪場ができた際には、その階段を撤去すると言われていて、そのことでOさんなどもよく質問されていたと思います。

今回はもっと大きな問題で、建替問題に向けてプロジェクトが始まっているということで、オープンにされています。では、一体どうなるのかということ。それは、グリーンホールの大きな問題でもありますし、駅前広場の中でグリーンホールの前がどうなるかということも、駅前広場の整備の上でだいぶ関係してきます。

私は、まだ2回ぐらいしか出たことがないのですが、以前には都市整備部とか市役所の担当部がこちらに出てきたほうが良いのではないかと行っていました。でも、今回出ます、名前が長いのですが、プロポーザルの実施要綱というのがあって、この審査会もありましたが、所管が行政経営部行財政改革課です。グリーンホールの建替と社会福祉協議会が入っている総合福祉センターの建替とを一緒にした、向こう10年を見据えた改革のときに、こういう利用者団体に市として説明に出てくるべきではないかと思えます。つまり、都市整備のみならず、行政経営部の公共施設マネジメント担当の方が出てきてくださって、ある程度、今のところの進捗状況なりを教えていただけたらと思えます。

それから、実は3日に今回の6月議会が終わったばかりなのですが、一般質問の中である議員が、グリーンホール、せんがわの利用状況とか色々質問されました。その中で、市の立てている計画と進捗状況について聞いたのですが、それに対する理事者側の回答、具体的に言えば、担当課の市役所の部長さんですが、3か所にヒアリングをしていると言われました。その1か所というのは、驚くべきことに、財団が対象でした。それから、福祉関係の利用者団体、それから、利用者団体として調布市文化協会と言われました。調布市文化協会とは何だろうとネットで検索したら、色々出てきたのですが、私などの所属する樹木の会は、ここ2回ほどたづくりまつりに参加しています。20団体、30回のたづくりまつりを運営しているのは、たづくり利用者会議なわけです。そこはヒアリングの対象になっていなかった。どうしてと。利用者団体へのヒアリングなら、グリーンホールをどうするかの説明だと思えます。それくらいあっても良いのではないかと思えます。だから、たづくり利用者会議は、利用者団体として認めてくれていないのかという感じも受けました。その点、どうなのでしょう。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

ありがとうございます。今、ご質問の中で、地下駐輪場ができるからグリーンホールの階段がというお話があったかと思いますが、調布駅前広場の整備は、地下駐輪場を計画する前から京王線の地下化に連動して計画されているところで、駅前広場を整備するに当たってグリーンホールの階段を撤去しなければいけないというところがあります。地下駐輪場が原因でグリーンホールの階段を撤去しなければいけないというところは事実と違うので、お伝えいたします。

○M

佐々木さんは、今回から文化生涯学習課ですね。前はどちらにいらしたのですか。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

前は政策企画課にいました。

○M

そうですね。では、行政経営部なわけですね。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

はい。

○M

分かりました。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

まず、公共施設マネジメント担当がこの場に出てくるべきではないかというお話ですが、こちらの利用者懇談会については、たづくりとグリーンホール、今回からせんがわ劇場が入りました。そちらの利用に当たっての意見交換をさせていただく場ですので、Mさんが言った公共施設のマネジメントは、今、担当を中心に、グリーンホールの更新に向けての整備の考え方、あわせて総合福祉センターの更新に向けての基本的な考えの整備方針を今年度中にまとめる予定で進めています。ある程度、案がまとまった段階で市民の皆様にお知らせし、グリーンホールについても、総合福祉センターについても、今年度中に基本的な考え方をまとめた整備方針を出す予定です。下半期には当然パブリックコメントの手続も入っていきます。それに向けて説明会をするのか、今どういった市民参加の手法をとるのかも含めて検討中ですので、そこはまた改めて公共施設マネジメント担当とも相談していきたいと思います。

私どもとしては、個別にグリーンホールの機能をどうしていくかを中心に考えていくこ

とになります。今は、グリーンホールは大ホールと小ホールがありますが、その機能をそのまま残していくのか、その規模をどうしていくのかというところを、中心になって我々文化生涯学習課が検討していくことになります。それに当たっては、もちろん色々な利用者の方にご意見をいただきながらと思いますので、Mさんがおっしゃられたように、たづくりの利用者会議さんで、もしそういうご要望があれば、意見交換をさせていただければと思いますので、よろしくをお願いします。

○M

ご要望があれば？

○佐々木文化生涯学習課長補佐

はい。

○M

ある程度大きな団体だと思います。30何回もたづくりまつりをやっているわけですから。建替問題というのは、利用の便利さを求めるために必要な情報です。ですから、ここが利用のための意見を吸い上げる場と言ったら大きな問題だと思います。

○F

今の問題に関連なので、提言したいのですが、グリーンホールの計画について、利用者の意見を聞きますというのは前回の懇談会でも出て、予定していますということなのです。今日の対応表でも、いつやるかというのが全然出てこないわけです。我々の心配は、市で今年期末までに方策を策定しますと言われると、あと9か月しかない。だから、市で検討される中に、市民の意見が全く入らないわけです。要するに、市民、利用者の意見を聞く会をいつおやりになるのか、具体的にはっきりしてください。ずっと提起されている問題なのです。

今日は、課長の榊さんが出てこられないのはどうしてか、後で理由をお伺いしますが、我々としては非常に大きな問題だと考えて、今の12階の音響効果の非常に悪いものがそのままになっているような状態が、今度の新しいグリーンホールでも、また、そういう市民の意見を入れないまま検討を市だけで進められると、市民の意見、利用者の意見が入らないまま計画が策定されて、後で計画が決まってから市民の意見を聞いても、単に意見は聞きましたと。今の国会でよくやっている、要するにガス抜きだけの問題ではだめです。だから、利用者、市民の意見を聞く会をいつやるかというのを今日ここで提示してください。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

おっしゃられるとおり、今年度中に整備方針を出します。

○F

あと9か月しかないです。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

確かに9か月ですが、当然整備方針を策定する前には、先ほど申しあげたように、パブリックコメントも実施します。

○F

それをいつやるかをはっきりしてくださいよ。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

そこはまだ内部で検討中です。

○F

だから、検討していますという答えを我々は期待していないわけです。いつやりますという答えを期待しているわけです。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

整備方針というのは、先ほど申しあげたのですが、グリーンホールの機能をどうしていくのかという大きなところの考え方をまとめていきたいと考えています。これまでも市から申しあげているとおり、グリーンホールについては、今後10年以内を目途として、建替を見据えて整備を進めていくという考え方を示しています。そちらについては、今年度からの基本計画、市の一番上位計画にも位置付けているところです。

その中で、まず今年度は整備方針を策定します。今の予定ですと、令和4年度ぐらいに基本構想をまとめていく。そこから基本設計や基本詳細設計に入っていくので、整備方針イコール、それが建替に向けて全て固まってしまうということではなく、整備方針を策定した上で、それをもとにまた皆様から色々ご意見をいただき、基本構想にしていきますので、そこまで何年かあります。まずは整備方針として、市の大きな考え方、グリーンホールで言えば、ホールの目的です。今後も市民ホールとしての意義は残していかなければいけないでしょうし、今、大ホール、小ホールとあるものをそのまま残していくのかということや、大ホールを残したとしても規模はどうするのかとか、そういった大きなところは、できれば今年度中に固めていきたいと思っています。そこからまた2年、3年かけて基本構想につなげていくので、その間も皆様からご意見いただきながら進めていきたいと考え

ています。今年度、整備方針を決めたからそこで終了とはなりません。そこについては、本年度の策定に向けて、なかなかスケジュールをお示しできなくて申し訳ないところはあるのですが。

○F

我々は1年待っています。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

今回、グリーンホールだけではなくて、先ほど公共施設マネジメント担当のプロポーザルのお話もありましたが、総合福祉センターもあわせて検討していくという形になります。庁内全体でも、関係部署が集まった会議などで検討していくというところがありますので、なかなか今すぐに皆様にスケジュールをお示しできないのは申し訳ないのですが、市民の皆様にも、何かしらの意見を聞くような機会は必ず設けていきたいと思っています。

○F

申し訳ないというのは聞きたくない。要は、どのようにするか、色々な団体の意見はもう聞いておられるわけでしょう。それに、なぜ利用者及び市民の意見を聞く機会をお入れにならないのですかと。ほかに聞いていないのだったら良いですよ。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

課題を整理していく中で、実際に利用されている方にご意見をいただいたりというところはあるのですが、これから新しいホールを整備していくといったところでは、また皆様のご意見をいただきながらと思っています。

○C

すみません、進行なのですが、一応全部一巡して……。グリーンホールの問題はすごく大きい問題なので、ここだけで議論を……。そういう議論は、ここの職員だけではなくて、さっき言ったように、本庁の担当者が来てくれなかったら、いつやりますというお答えはすごく難しいと思います。グリーンホールだけでなく、福祉会館も含めた問題にもなってくる。そうしたら、そういう場をきちっと設けていただくことをまず要望することとして、とにかく一巡したほうが良いのではないですか。

○土方理事

Fさん、それで良いですよ。一回、回しましょう。

○木村企画課長

それでは、Nのお席におかけの方、お願いします。

○N

私は単なる利用者の立場として、公民館・たづくり利用者会議で5月24日から26日までを使って、むらさきホール、南北ギャラリー、映像シアター、10階の調理場、3階の諸室など、色々使わせていただいています。期間は4日ぐらいなので、短いのですが、東部公民館を通して押さえていただいているので、私たちは十分使えていると思います。

今回、東側の道路の前に、電気を使わないで、太陽光や蓄電器を使って、色々な部屋のものを動かすというものを展示した団体がいて、それが非常に好評でした。テレビ局も1社来ていただいて、色々な人がそこに来て、見ていただきました。あのスペースをもっと色々な理由で、民間にも貸していただけたらと思いますが、いかがでしょうか。そのお祭りのときは、どうしても部屋の中だけだと、外部の人にうまく働きかけができないので、あの場があると、外から来る人から、何これ、こういうのをやっているのという宣伝効果は絶大です。

○大割企画課副主幹

東館の屋外のことですか。

○N

屋外です。

○○

今言おうとしているのは、庁舎前の広場がずっと続いています。それで、東側のところを借りてやらせていただいたので、通行する人や一般の市民にも呼びかけするには、外も同時に使ったほうがもっと訴えることができるので、これからもぜひ活用していきたいということです。これは、たづくりそのものが使用許可を出すわけではないのですが、たづくりにも一応話して、管財課に申し込んでくださいと言われてやったものです。ですから、そういう使い方で色々相談していくことがあると思いますので、よろしくお願いします。

○木村企画課長

では、○のお席におかけの方、お願いします。

○○

○と申します。ここの質問項目の1番のところ、先ほども出ましたが、グリーンホールの改修の問題。実は私、2018年度に文化協会の音楽連盟だとか合唱関係をやっていて、その年度中にグリーンホールをどうするか意見を聞くと市長は言っていたのですが、ついに具体的な市民との意見聴取の場は持たれませんでした。今年もまた、文化協会の中

で市長とそういう話をする機会がであったので、例えば一般の建築業界紙では、福社会館の建替と絡めてグリーンホールの改修が検討中のごとくされているが、市民には具体的にそういう相談が全然ない。去年はやられなかったが、どうするのですかと、また改めて私が聞きましたら、19年度は必ずやりますと言われたのです。ここからまた1か月ぐらい過ぎていたので、今日は、このような形で意見聴取したいという具体的な話が聞けるかなと思ひまして、毎回聞かせていただいているところです。

大まかなものが明らかになったら、皆さんの意見を聞くと言われているのですが、大まかな形になったときには、動かしがたい形になってしまっていることが今までであったので、それを固めるに当たって、聞くべきタイミングではないかというのが私たちの意見です。固めてから、ここへこれぐらいの規模のものをつくることになりました。ここをつくるに当たっては、こういうものしかつくれませんと後から言われても、あるいはパブリックコメントは良いのですが、利用者や市民の意見が十分反映されている印象がないものですから、少し不安になります。直接こうやって話せる機会は非常に貴重だと思いますので、そういうところを少し具体的な話としていただければなど。

この間、たづくりまつりをやりましたときに、一般市民の方に、祭りの事業のアンケートもとりましたが、たづくりについてのアンケートもあわせて書いてくださいとお願いしたところオリンピックだとかの問題もあるのかもしれませんが、ホールが非常にとりにくいということから、ホールなどの発表する場所が調布の中で少ない。我々が使っているのは、ホール系ではグリーンホールとくすのきホールしかないということで、それが最近、様々な行事とバッティングしたり、市の行事があつて、一般市民として使う機会がなかなか確保できません。抽選申込みをしても、ことごとく外れてしまうというのが現状なので、そういうところも市民の意見としてあることを十分に認識していただき、ぜひ反映させる手だてをとっていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

ありがとうございます。先ほど、今年度中に大きな方向性を固めるということをお願いしました。もちろんその前にも皆様にご意見いただきながら進めてまいりたいと思います。

今、まだ内部で検討中という段階ではあるのですが、下半期には皆様にも意見をいただきながら、今年度末に整備方針としてまとめていくという形になろうかと思ひます。その場合は、グリーンホールだけではなくて、総合福祉センターの問題もありますし、ある程度、大規模な施設を更新するとなった場合に、市としては、まず民間活力の導入とか、そ

ういったところも検討していかなければいけないというのがあります。そういったところも含めて、トータル的に内部で検討中ですので、下半期にはかっちりと固まったということではなくて、こういうことを考えていますというところで一度お示しして、ご意見いただきながら、整備方針をまとめていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

〇〇

関連してなのですが、グリーンホールをつくる頃は意見を聴取する場所も余りなかったかもしれません。たづくりをつくるときには、たづくり建設の推進懇談会に、私たち利用者会議からも代表を送って、色々意見をまとめました。そのときにも、まとめ方についても非常に疑義がありましたが、くすのきホールをつくるに当たっては、市から意見をまとめてつくったと言ったのは、社交ダンスの団体数が非常に多かったというのもあったのですが、多目的型のホールをつくることとなりました。文化協会や私たち利用者会議も一緒になって、そういうものでは市民が欲しいホールとは違う、劇場型のホールに変えてくれということで署名運動をしまして、多目的型のホールから、今のくすのきホールに計画を変えて建築をやっていただいたと。そのときに、市民の要望が結果的に計画を変えたということが起きていますので、そういう方針を示す前に、意見を十分に聴取してもらいたいと思います。

さっき、Mさんからプロポーザルの問題で、市民団体から色々聞いた中に、財団や文化協会がありましたが、以前にもグリーンホールの使い方という形で行政から意見を聞かれたことがありました。どういうグリーンホールにしたいかだとかということでのやりとりには至っていなかったように思いますので、市民の利用団体や市民のそういう団体からの聴取がどういう意図でやられたか、聴取の仕方によって集まる意見がだいぶ違うのではないかと思いますので、よろしくお願いします。

〇佐々木文化生涯学習課長補佐

おっしゃるとおり、今までは、今のグリーンホールの課題を整理するためにご意見をいただいていたところはあると思います。これからは、今後整備するホールをどうしていくかということに対してご意見を頂戴したいと思いますので、そちらは進めていきたいと思っております。よろしくお願いします。

〇木村企画課長

それでは、Pのお席におかけの方、お願いします。

〇P



Pと申します。今年度から、せんがわ劇場が市のものから財団の指定管理になりまして、私もこの懇談会の貼り紙を見て、いつも気になっていました。なかなか時間もつくれなかったのですが、今回そういうこともあったので、参加しました。こういう場があって良かったなと思うので、ありがとうございます。

せんがわ劇場が財団の指定管理になって、利用する方の申し込みのやりとりがなかなか難しかったというのをこの間確認してきて、お話もしました。新しいものに移行すると色々なことが起こりますので、今後、そのあたりは十分注意されることも確認していますが、せんがわ劇場が入っていく、そのあたりの考え方について、どのように考えていらっしゃるか、ひとつ教えてください。

それと、今色々な意見が出た中で、市民のための施設であり、市民が使うものであるということが大前提なわけで、その中で、全ての方ではないかもしれないですが、市民の声がなかなか届かないと思っているという意見があります。私も市民活動しながら、また、市と色々なお話をさせていく場においても、市民の考えと行政の考えが合っていないということを感じてきました。それは今、意見も出ている中であつたと思うので、そろそろと言ったら変な言い方ですが、本気でというか、どのようにしたら市民の意見がきちんと届くというか、市民も納得するというか、模索していく必要があると思うので、そういうところの考え方とか、方向性とか、進め方にもう少し工夫が要るのではないかと思います。

今、多様性という中で、色々な意見があると思います。世代間の違いも社会的にはっきりとあると思うので、そこは行政や、運営していく中で難しいことだと思いますが、そこに一步踏み入れてチャレンジしていかないと、このまま平行線のまま、場合によっては対立みたいなことが起こる中で進められていくのはとても残念なことだと思います。行政の皆さんや、その施設の管理で働いてくださっている、努力されているところも私は感じている部分がありますので、そういうところが無駄にならないような運営というか、調布市にそういうものになっていただきたいと思ったときに、そのあり方というか、考え方、方向性を考えていく必要があると思うので、市としても、そういうことは話していただきたいと思います。

このままだと、余り良くないのではないかと私は思います。なので、こういう場も、口の字型になって、顔が見える形にしてというところは良いと思いますし、ヨーロッパとかでは顔が見える形でやることも当たり前のようになっている中で、ワークショップ的な、意見がたくさん言えるような形にすることも工夫する1つの方法だと思いますし、市は市

民の意見を聞いて進めていき、そうではないということをどのように解消していくか、本当に考えていっていただきたいと思います。

あと、2つ目に、ほかの自治体で公共施設が新しく変わっていく中で、何か先進的な事例の研究などがされているのかをお聞きします。

あと、条例のお話がさっき出ていましたが、条例で決まっていくということなので、市議会に市民として陳情などを出されることが、条例を考えていくというところでは必要な段取りになってくると思うので、そのあたりは、ぜひ議会事務局にお問い合わせになって、その日程などを確認し、どのようにしていくかは一定のルールがあるので、そのあたりを踏まえて進められると良いのではないかと、先ほどの方の意見を聞いて思ったので、少し補足です。

議員の方も市民の代表ですが、文化行政に関して関心を持たれているか、持たれていないかということも、市の文化施策の発展についての影響が大きいと思うので、そのあたりは、今度の議会で取り上げていただくような形の活動も必要かと思います。文化行政に関する内容的な部分に関心を持っていただくのがなかなか難しいのかなど。既存の色々なところで進められていきがちなのかなと感じたので、そのあたりも市民として行動していくことも必要なかなと思った次第です。なので、2つ教えていただければと思います。

○土方理事

それは市に対してですか。

○P

どちらでも良いです。

○土方理事

まず、分かるところで言いますと、うちの利用者の意見というのは、皆さんがここに一緒に集まっていたいただいて、意見を言っていただくという場です。ここには市の職員も来ています。あと、メール、直接部屋を使った後にメモを置いていかれる方、ファックスなど色々な形で市民の方の意見をいただいています。利用者懇談会は年2回開催していますので、こちらに来て、意見を言っていただければ、直に顔を見ながら議論はできます。

あと、財団が指定管理となりましたが、今までスムーズに運営できているのではないかという認識はしています。

○岡野芸術振興事業課副主幹

芸術振興事業課の副主幹として、せんがわ劇場の館長もあわせて務めていますので、少

しお話しさせていただければと思います。

まず、4月1日から財団へ管理運営が移行して、はや3か月が経過しました。まず、施設の運用面で、直営時代、施設の利用については、劇場の予約と一般の方がお使いになる割合を目安で50%ずつと決めていました。そちらは継続して、我々の行う事業が50%を超えないように留意しています。

今年度については、設備の修繕のための日程を確保させていただいているため、とりづらいつ感じられる方がいたのかもしれませんが、施設を更新して、より使いやすくなっていくものとなっていますので、御理解いただければと思います。

#### ○土方理事

昨年度までの直営の頃には予算の都合もあり、せんがわ劇場のチラシは西つつじヶ丘付近までしか配布できていないと聞いていました。財団の指定管理以降は「ぱれっと」に情報を掲載していますので、西調布とか飛田給など調布の西側から劇場に来ている人もいます。全市的な方が集まるような形になったことは、プラス効果だと思います。

#### ○佐々木文化生涯学習課長補佐

市民の意見のことですが、この場は利用者の皆様の声をお聞きするような形で、我々も同席していますが、財団さんが指定管理者としてこういった会を開いてくださっているところがあります。先ほどからグリーンホールの更新に向けたお話がありましたが、そちらは、どちらかというとしが主体となってやっていくべきものですので、私どもとして責任を持って、今後、皆様の意見を聞く機会を設けていきたいと思っています。この場とは性質が違ふと思いますので、よろしくお願ひします。

せんがわ劇場については、今年度からこちらも指定管理ということで、財団にお願いしていますが、直営時代では、市役所の職員は3年ぐらいですぐ入れかわってしまうところで、直営で劇場を運営していくことの難しさもあり、財団に指定管理をお願いしていくことになったわけです。先ほど土方理事からあったように、3館一体で運営していくことによるメリット、スケールメリットも広報部分であると思いますし、そういったところを生かしながら、より効果的な事業を進めていただければと思いますし、我々も、そういったところをしっかりと支援していきたいと思っています。

#### ○P

ほかの自治体での取組の件はいかがですか。

#### ○佐々木文化生涯学習課長補佐

グリーンホールの更新に当たっては、これからやっていくような形です。いくつか候補を考えていまして、公共施設マネジメント担当とも相談しながら、先進事例も調べていきたいと思えます。

○P

ぜひ進める上でお願いしたいところです。

聞いていることと違う答えが返ってきたような気がするのですが、せんがわ劇場を利用する方が、指定管理に移行する中でやりにくかった部分があったと聞いていますので、新しくシステムが変わるところでは十分な配慮していただきたい。そうしないと、信頼関係が失われて、マイナスなことだと思います。そういうことが起こらないように、ぜひ努めていただきたいと思っていたので、先ほどお答えいただいたことは、ああそうなのかと思いましたが、信頼が失われないような運営をしていっていただきたいと思えます。

あと、私が聞きたかったのは、市民の声を取り入れる工夫がどのようにされていくのかをもう少し分かりやすく聞きたかったのですが、その答えの中に含まれているのでしょうか。それはまた考えていただけるといいということですか。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

はい。

○P

それはやっていっていただかないといけないと思えますので、ぜひ部長とかにもお伝えください。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

300以上ある市の公共建築物、公共施設の中でも、グリーンホールの建替は市民の皆様の関心が高いところは市としても認識していまして、そこについては十分に注意してやっていきたいと思えますので、よろしくお願ひします。

○木村企画課長

ありがとうございました。それでは、Qのお席におかけの方、お願ひします。

○Q

Qと申します。よろしくお願ひします。3月13日の市議会の文教委員会で、せんがわ劇場が指定管理に変わるので、運営の検証を市で検討しますとおっしゃっていただいたと思えますが、そちらの検討状況をお聞かせいただきたいのです。

私自身が考えていることとしては、10年間、せんがわ劇場のボランティアでお世話に

なってきました。それで、せんがわ地域や市内、結構広くの方の協力を得ながら、地域資源を生かして、ひとつの例では、おらほせんがわ夏まつりが8月3日、4日にあります。地域の方に無料でご協力いただきながら、地域の子どもに楽しんでもらうみたいな企画があるのです。

10年間やってきた今、自分がそういう状態にはなったが、その継承や、うまく回すために10年間、せんがわ劇場で運営委員会という仕組みがありました。年間3回ぐらい、商店街の人と自治会の人と学術機関の人と公募の市民の人が参加して、予算の報告があったり、今後の方針について意見を言う場だったのですが、それが今なくなっている状況です。そういう場所がないと、今後どうやって音楽・芝居小屋のある街づくりの中で進めていくのかというのが結構見にくくなってくると思います。自分だけが得してもしょうがないので、できれば、次の人が同じように地域の人とつながれて、劇場について、街を通して考える場があると良いと思います。今もし検討していることがあれば教えていただきたいと思います。

○D

どうしてその運営委員会がなくなってしまったのですか。

○Q

分らないです。お願いします。

○土方理事

まず、財団に理事会があります。まずは理事会の中で議論し判断するというのが1つの考え方です。

○岡野芸術振興事業課副主幹

私からもお話をさせていただければと思います。今、Qさんから市民の方、特に地域にいらっしゃる商店街の方ですとか、学術機関というお話がありました。財団の運営となったために地域の方の意見を聞かないといったことは考えていません。私たちもせんがわ劇場にいて、事業のために街に出ることも今後出てくると思います。そういった中で、1つは、直接お会いしてお話を伺えればと思っています。それは商店街の方であり、参加された市民であり、一緒に事業に協力していただく学術機関の先生や、桐朋学園の出演していただいた生徒さん、卒業生の方、そういった方から直接ご意見を伺えればと思います。

事業にまだ参加されていない方々に対しての意見の聴取方法をどうしたら良いか、今、持ち合わせてはいませんが、指定管理を行っていく中で、ご参加されていない方からの意

見の聞き方なども検討していきたいと思います。

○Q

よろしくをお願いします。

○木村企画課長

ありがとうございます。それでは、Rのお席におかけの方、お願いします。

○R

私、ここで皆さんに色々お願いしたい思いは強かったのですが、体の調子が悪かったので、遅刻して申し訳なかったです。機会があれば、私、30年間やってきたことがありますので、せめてそれだけを知っていただいて、ご理解を得たいものだと思っていますので、後で資料などを帰り際にちらっと見ていただければ、それで分かりますので、よろしくをお願いします。

○木村企画課長

ありがとうございます。それでは、Cの席におかけの方、お願いします。

○C

発言するつもりはなかったのですが、Qさんの年に3回の運営委員会はすごい大事な場だと思います。街に出て、商店街の方、いろいろな方に意見を直接聞いているからという答えがありましたが、全然違います。私は、なぜこの場に年2回、必死に出てくるかと言えば、やはりこういう場はすごく貴重です。色々なサークルの人が集まって、実際使ってみないと分からないことがいっぱいあるわけです。使ってみて、こうしてもらいたいな、でも、こういう場が年2回あるからそこに出て、言って、もちろん出来ることと出来ないこと、改善もあります。でも、今まで財団の側の人たちは、最大限の努力をされてきているので、最初にここを使っていた頃とは雲泥の差です。私はそのように感じているのです。でも、意見を聞いてくださる場があるということで、少しずつでも良くなっていると思います。ですから、3回開かれていた場を、直接市民の皆さんに聞きますよ、直接学校に行きかけて聞きますよというのは全然違うと思います。そういう場を確保するのが行政のやる大事なことなのです。そういう場がなかったら良くなっていきません。

私、東部公民館に関係していたものですから、秋のお祭りもあって、商店街の会長さんを公民館の企画でお呼びして、講演会を行いました。仙川の商店街の洋服屋さんか何かとおっしゃいましたが、感動しました。次の年は、せんがわ劇場の方のお話。この方のお話も感動しました。こうやって地域の劇場を運営されているのだと。

そういう意味では、音楽・芝居小屋のある街づくり、それから桐朋があるということ、劇場の方も自分はこの街で育てられたというお話をされました。劇場を愛して、仙川の街を愛して、そういう人たちの声が反映されるような、商店街とか、色々なところの人たちが街を守っているわけですから、その場をもしやめたのだったら、それは私、大きな声で抗議します。復活してほしいです。そういうところがあって初めてせんがわ劇場がうまく運営されていくのではないかと思って、今ちょうど私の前で意見を言われたので長々と言わせてもらいました。

その話は置いて、こういう場を設けてくださる財団のこの場はすごく良いというか、本当に色々改善されてきました。例えば、私たち、映像シアターをよく使わせてもらうのですが、映像シアターも、最初は入場料をとるなどとんでもない。講師の関連の本を売る、そんなのとんでもない。それをこっそりやると飛んでくるのです。次から使えなくなりますよみたいなことまで言われて、叱られるので本当に怖かったのですが、今はそういうこともなくて、1,000円という入場料でチケットを販売する。関連のものだったら良いですよと、会場の中で売らせてもらっているし、ここでのやりとりがあって、利用者の方が少しでも使いやすくなるようにということを受けとめてくださって、実際に動いてくださる。

だから、先程の利用時間のことも私たちもすごく感じています。そういう意見がここで出たわけですから、なかなか難しいのですと。それも分かります。でも、それは陳情や何かを出して、ここから直接議会に言って、何とかこれを30分、他市はこうですよというお話もされながらやっていただければ、私はそんなに難しいことではないのではないかと思いますので、ぜひその辺をよろしくお願いします。

○木村企画課長

ありがとうございます。お願いします。

○F

Fです。前にも申しあげましたが、この利用者懇談会は、私が退職して、たづくりを利用するようになってから、運営がいかに市民不在なので、利用する人の懇談会をやりましょうというのを当時の財団幹部に提案したのですが、全く聞く耳を持たない。調布市の職員は、ラスパイレス指数で全国一の給料をもらっていると聞いていますが、それならそれ相当の仕事をしてもらいたいということで、市長にまで上げて、15年前に提案して、14年前からこの利用者懇談会が始まったわけです。

第1回に、市からもお出になりますねと私が確認したら、当時の文化部の副部長の言いは、第1回は財団に任せて、何か問題があったら市で出ますからと。市民の目から見ると、たづくりにしても、グリーンホールにしても、税金でつくって、市民のための設備でありながら、市の職員、特に市役所の方の認識は、それくらい非常に低いと私はかねがね感じています。

今日も課長さんはおいでにならずに、課長補佐さんがお出になる。前の榊さんの色々なお答えも、積極的に市民の意見を取り入れるにはどうも距離があるという印象を持っていました。今日は、なぜ榊さんはお出にならないのか、まず理由をお聞かせください。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

榊は、この4月から文化生涯学習課長はそのままなのですが、生活文化スポーツ部の次長を兼務することになりまして、文化生涯学習課だけではなくて、部全体を統括する立場になりました。昨年のはじめは、文化生涯学習課にもう一人管理職がいたのですが、下半期については管理職不在で、この4月から私が管理職として参ったところですよ。

榊も部を統括する立場になった中で、我々生活文化スポーツ部については、土日也比较的色々な事業をやっています、そういった中で、課の事業については、私と管理職が2人いますので、なるべく分担していくような形をとらせていただいています。そういった中で、今日は私が参ったところですよ。

○F

考えている議題を事前にご連絡しているのは、この中で恐らく私だけではないかと思えます。これはご覧になっていますね。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

はい。

○F

今のグリーンホールの問題で、懇談会をいつやりますかというのを書いておいたわけです。今まで、藤堂さんにしても、常廣さんにしても、事前に出した議題に対しては事前に検討して、そのお答えを当日、要するに、この会議でちゃんとお答えいただいているわけです。だから、あと半年待たないといかんということにはなっていないわけです。ところが、市はどうもそうではない。せつかく議題を前もってお渡ししてあるにもかかわらず、検討しますという答えにしかならない。それはぜひ改めてもらいたい。何のために私は議題を先にお出ししているかということですよ。



だから、グリーンホールの件については、また改めて、さっきご提案があったように、別途早く市の方針を策定する。何回やっても良いと思います。市の方針を策定するまでに、市民、利用者の意見を市の方針に取り入れることができるわけですから、ぜひやってもらいたいということです。だから、グリーンホールの件については、その会議を待つことにします。早くやってください。

議題の2番目ですが、ご意見として承りますというのはやめてくださいというのを前回提案したわけです。それは、色々な検討があるので、それはそれで良いと思いますが、実際にご意見として承った点を実際実施することになったら、それを提案者に連絡してもらいたいという希望です。

一例を申しますと、だいたい前のこの会議ですが、1階のロビーに大型のディスプレイがあって、テレビ放送を時々映してしまっていて、もったいないから、あれはやめましょうという提案をしたら、当時の財団の意見は、ご意見として承りますと。やめましょうと私が提案したのは、見ている人は、大相撲のときぐらいは少し見っていますが、ほかは全然見ている人がなかったので、撤去を提案した。あるいは、エレベーターの中に、利用者懇談会の開催通知を掲示してくださいと提案したら、エレベーターの中は、そういう案内はみっともないので貼らないことにしていますというのが当時の答えだったのです。ところが、その後、利用者懇談会の開催通知も掲示しているし、小さい展覧会のものも掲示しているということで、せっかく私が提案して、その場では却下されたものが、その後、取り入れて実施されている。これは、革（あらた）むることに憚（はばか）ることなかれで、悪いことではないのですが、意見として承りますということで片づけられた問題で、後で実施することになったものは、後で提案者に、こうなりましたという報告ぐらいするのが筋ではないかと思います。

3番目の議題は、この間、12月5日の近隣大学のコンサートで、開催通知では、単にピアノコンサートというだけでした。中井、武田両先生の名曲ぞろいの、しかも、例えば「第九」のピアノ版ということで、最初から内容が分かっていたら、参加者はもっと多かったと思います。500人定員のホールに対して、当時の人数を一昨日聞いたら、180人だったと聞いています。曲目そのものが開催通知に書いてあったら、恐らく満席になっていたのではないかと。あるいは、2,000～3,000円の会費をとると言っても満席になったのではないかと思うぐらいの非常に良いコンサートでしたので、こういう講座、あるいは案内については、内容をできるだけ詳しく、例えばこういう曲目をやりますとい

うことを書いておいてもらったら、もっと参加者が増えると思います。それをぜひお願いしたいと思います。

それから、4番目の議題の、コンサートの主演曲目の変更は慎んでいただきたい。これは、11月の前橋汀子のバイオリンのコンサートで「クロイツェル」をやりますと案内にあったので、楽しみに申し込んだら、当日になって「春」に変えますと変更の案内を渡されたのです。私、色々なコンサートに行っていますが、目玉の曲目が変わったというのは初めての経験でした。そういうことがないように、目玉の曲目は変えないようにしていただきたいというのが私の提案です。

○藤堂芸術振興事業課長

3番と4番については、おっしゃるとおりだと思います。私たちも、これはなかなか苦慮するところで、3番目の公開講座については、お二人の先生が演奏するところまでは分かっていたのですが、何を演奏するというのがなかなか出なくて、こちらもし分かっていたら、もちろんお出ししたいです。そこがなかなかやりとりの難しいところで、両先生の間に桐朋の事務局とかも挟まっているのです。今回、曲目が直前にならないと分からなかったという事情もありまして、今後は、もちろん分かれば、広報の段階でも出していったほうが、私たちとしても、人をたくさん集めたいのは同じですので、そういうところはなるべく出していききたいと思います。

もう1つのコンサートの件は、私も目玉の曲が変わるというのは初めてでした。そうめったにあることではないですし、私たちとしても、目玉の曲を変えても良いですかぐらいのことでしたら、いや、変えないでくださいとももちろん言います。ただ、この件についても、前橋さん側から、直前にどうしてもこれは変えたいのだというお話があったと聞いていまして、それを変えないと演奏会自体が成り立たないという事態になってしまうと、そこは演奏会をやることを優先せざるを得ないという状況になります。目玉の曲は私たちも変えたくないと思っています。

○F

要は、事前に曲目をできるだけお知らせくださいと言っておくか、言わないでおくかで、対応がだいぶ変わると思うので、決まっている曲があったら、ぜひ事前にお知らせおきくださいと言っておいてもらえば良いと思います。それは改善の手段としてお願いしたい。特に、コンサートについては、非常に感銘を受けたので、ホームページで両先生のアドレスを調べて、非常に感動しましたというお礼を直接申しあげたら、即、両先生から「お励

ましいただきましてありがとうございます。こういうメールをいただくのは非常に励みになります」というご返事をいただきました。それくらいの先生なので、事前に曲目をお知らせおきくださいと言えば、多分お知らせいただいていたと思います。だから、いかに講座の参加人数を増やすかを考えると、そういう詳細なデータを入れておくとよいと思います。これは、市民カレッジについても同じだと思うのです。そのやり方、内容について詳細を募集パンフレットに書いておくということが効果があると思います。せっかくやる講座なので、なるべく多くの人数を集めてということをごひおやりいただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

○木村企画課長

では、一通りお話は皆様からいただいたと思えますが、よろしいでしょうか。

○M

さっき、途中で質問したかったことがありまして、それは話している途中で少し解消されたかなと思えますが、グリーンホール建替問題に関してヒアリングをしたという場合、ヒアリングをしたのは、市ですか、財団ですか。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

市です。

○M

そうした場合、誰にヒアリングをするのかという情報は財団から得ているのでしょうか。実態を知っているのは財団なわけですから。利用に関しても、どんな団体があるのかと。登録団体としていくつぐらいあるのですか。

○土方理事

すごい数です。

○M

その中で、どういう団体があるのか。文化協会だけに聞き取りをしたというのがどうも私は気になってしまったのです。そのほかに、たづくり利用者会議があるし、せんがわ劇場には運営委員会があったりとか、そういうことの実態把握しているのは財団だと思えますので、ヒアリングをする対象を選ぶことから財団をきちんと通したほうが良いかなと思えます。

結局、行政経営部がヒアリングをしてくださったのですね。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

行政経営部ではなく、文化生涯学習課です。我々文化生涯学習課では、文化振興と生涯学習をやっていますので、生涯学習を推進していく中で、我々も直接サークルさんとやりとりしている部分もありますので、そういった中で、そういう意見交換をしたりということもあります。もちろんそれ以外にも我々が知らない団体さんで、たづくり、グリーンホールを利用されている団体さんはいっぱいあると思いますので、そちらについては、改めて財団さんとも相談しながら、全ての方々とお会いしてお話を聞くのはなかなか難しいと思いますが、アンケートという形をとるのか、そういったところも含めて相談していきたいと思います。

OM

色々な方法で市民からの意見を聞いて、それを反映させるということに結びつけていただきたいと思います。生活文化スポーツ部でヒアリングしたことは、行政経営部に確実に上げていただきたいと思います。

それから、前回の懇談会の内容の一覧表、私は樹木の会で、市と話をよくしてきて、この2年余りは、いつも気楽に話をしてくれます。その前はそうでもなかったのです。市の姿勢は非常に良いなと思いますが、このように前回の討論の要望、話し合いの結果、それに対する措置について出てくる表はあまり見たことがなかったので、非常に良いことかなと思います。

環境部でやるものでも出てくるのです。環境部さんの場合には、例えば意見交換会をやると、そこに出席の人に、次回これをやりますと郵送で来るのです。前回の議事録も出てくる。そのように、お互いに競い合って、市民の意見を取り入れる上においてレベルアップしていただきたいと思います。

これはとても良いと思いますが、グリーンホールのあり方について、何か進んでいるようですが、どのように進んでいるのか、説明してくれという意見が1番から5番まであるわけですが。これについて、直接の担当である文化生涯学習課が答えるのは良いかもしれませんが、物によっては、それを担当している、例えばコンサルや何かに投げかけている問題があります。それについて、そろそろ返ってきつつあるということについて、その担当の所管が答えることも必要かなと思います。

調布市文化生涯学習課が、グリーンホール、総合福祉センターを含む建替問題、この10年にわたる公共施設のあり方について検討している当該所管ではないわけです。ですから、それを進めている行政経営部何とか課からの答えがある場所があっても良いのでは

ないかと思えます。行政経営部付公共施設マネジメント担当部署があるわけです。ぜひそちらからの答えも皆さん聞きたいと思っています。よろしくお願いします。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

整備方針をまとめていく上では、もちろんグリーンホールの機能という部分については、我々担当課がやりますし、総合福祉センターについては、福祉総務課が中心になって検討していきます。それをトータル的にコーディネートしていくのが公共施設マネジメント担当、行政経営部になりますので、そこは我々、常日頃情報共有もしています。今日いただいたご意見も公共施設マネジメント担当に伝えながら進めていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

○木村企画課長

ありがとうございました。まだご意見がある方、いらっしゃいますか。

○C

先ほども出たのですが、市役所の食堂が耐震の工事でなくなりました。もちろん職員の人たちも、今までお昼は大勢の方たちが利用していたし、私たちもすごく便利でした。傍聴した後、そこでお昼を食べたり、お茶も安く飲めました。では、耐震工事が終わったら、また復活するのですかと入口の警備の人に聞いたら、そのときは、復活しないのではないかと。最初の頃は、私などがあの辺にいと、ここにあったよねと聞かれたりして、外から市役所を利用した市民も使っていたし、職員はもちろんです。

普通の感覚だと、例えば建替だったら、あんなに広くなく狭くても良いです。それに替わるもの、皆さん、無い間はここを使ってくださいと。そちらにしては準備があったのですが、市民にとっては本当にいきなりです。さっき、昼食難民になると言ったことは、オーバーではなくて、私たちは本当にうろうろしてしまうのです。

売店もここに無いわけでしょう。一番近いローソンなどは、12時を過ぎるとすごいです。とぐろを巻くように行列に並んで、結局、役所の人はどこかで食べているのでしょうか。だから、市民が不便をしているのだということを担当部署に伝えてほしいのです。普通、公共施設でそういうものがなくなったら、代替のものを用意するとか、あれがなくなってしまうたら、すごく問題が大きいということ。

私たちも、たづくりまつりをやっているときに、障害者のところからパンを買って売っています。土日が入るから、土日にここで販売してほしいと言うと、とても手が足りないと言われるから分かります。仕方がないので日曜日の分も仕入れて、そしてこちらの手間

で売って、お金は……。だから、色々な人がかかわるから大変なのです。たづくりではお弁当を売っていますが、土日はないわけだから、ぜひ工夫と努力で何とかしてほしいと思います。

○土方理事

調整してみます。

○C

ここに、「現状では難しい状況です」と書かれてあるし、それは私たちも実際にお祭りでやってみて、手が足りないのは分かります。でも、何とかそこを……

○土方理事

この難しいというのは、障害者の団体にお願いするのは難しいですという意味で、それはまた別の話になりますので。

○C

さっき、公募でやったらどうですかと。土日のイベントに色々出ているではないですか。ああいう人たちも結構大変そうですね。色々なところを転々としながら、イベントがあるときはあそこに出るみたいです。そういう人たちに公募をかけてはいかがでしょうか。

○土方理事

Cさん、平日、お弁当を売っていますよね。外で売っていると買いやすいですか。土日も中の売店でパンを売っていたらしいのです。余り売れなくて少量にしたらしいです。

○M

外で売れば違うと思います。

○土方理事

その辺も含めて市と話してみます。どうなるか分からないのですが、そういう要望が多いということ。

○M

これ、食堂がなくなる少し前から、2年越しに出ている要望だと思うので、ぜひ前向きに、色々なところに働きかけていただきたいと思います。財団だけではなくて、調布市もできるだけ一緒に力を尽くしていただけたら。

○土方理事

あそこは市の管理になっていますので。

○C

お昼は難民状態になっているのではないかと思います。普通替わりを用意するでしょう。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

免震工事でスペースもないものですから、ご不便をかけているところがあります。そういうご意見をいただいているということで……

○C

復活はするのか分からないでしょう。

○佐々木文化生涯学習課長補佐

はい。

○C

警備の人も、できないのではないかみたいなことをちらっと言っていたから「なくなってしまうの」と、すごいびっくりしました。だから、こちらは1年か2年の辛抱で、また復活するのかなと思っているのですが、そこをよろしくお願いします。

○木村企画課長

ほかはよろしいでしょうか。

○N

Nと申します。久々に来て、こういう話があるのだ、考えは何も用意していなかったのですが、それにしても少ないですね。顔の見える関係ですが、あるからこそ大事だと。使っているたづくりが、私たちが要望していくことで良くなっていくわけですから、要望しない限り、そのまま現状維持なわけで、おかしいことはおかしいと言っていく市民を多くすることで変わっていくと思います。

○M

たづくりが半分になると言ったら、みんな出てくる。

○N

たづくりが半分になると言ったら、みんな出てくるそうです（笑声）。もう少し一緒に考えていけたらと思います。よろしくお願いします。

○O

こういう懇談会がたづくり、グリーンホール、それから今度はせんがわ劇場が財団の指定管理になりましたが、先ほどせんがわ劇場の話を聞いていて、あそこも10年ぐらいになるのですか。公共施設が市民に定着してくるのに10年ぐらいかかってしまうと思います。公民館もそうですが、出来たばかりのときには、便利になるなどと言いながらも、な

かなか市民との繋がりが定着しないで、10年ぐらいうると定着してきて、ようやく馴染んでくる。

先ほど、せんがわ劇場のサポーターの方から聞いて、地域の子どもたちとの繋がりも強くなってきたという話を聞いて、商店街の人、桐朋学園の方、サポーターの人、劇場ですから劇団と一緒に運営会議をやることで定着してきたと思います。広報の効果としては、「ばれっと」によって、仙川エリアから全市的な広報もできるのですが、市民との繋がりがどうか、せんがわ劇場が本当に市民のものになってくるというのは、周りとの連帯で、個々の意見をせんがわ劇場の人たちが聞くのも大事ですが、その4者が一堂の場で話し合うところがお互いに力にもなり、色々なことがプラスの効果になってくるのだと思います。

例えば、たづくりができたときにも、公民館の機能がここへ来ることで、公民館運営審議会のような機関がたづくりの中にもできるのかと言ったときに、つくったときの当時の公民館長が我々に説明するときに、理事会だとか評議員会という中でやっていて、そういう機能を果たしていくということを書いてきたのです。こういう懇談会も、色々なものを一堂にするとだんだん希薄になってきてしまっていて、通り一遍のものになってしまうのではなかろうかという心配がありました。せんがわ劇場の経験だとかというのは、それはそれとして、引き継いでいく大事なことはないかという気がします。最初のこけら落としのときは、私たちが演奏だとかに行きましたが、市民と地域とのつながりだとかというのは、そういうところを行政の段階でも大事にしていただければ良いのではないかという気がしますので、よろしくお願いします。

#### ○木村企画課長

そのほか、よろしいでしょうか。

それでは、本日は多岐にわたり、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。今後のたづくり・グリーンホール・せんがわ劇場の運営に生かしてまいりたいと思います。

また、何か今後お気づきの点がありましたら、たづくり7階の事務室又はお電話、メールでも結構ですので、お気軽にお声をかけていただければと思います。

なお、次回の利用者懇談会は、本年11月頃の実施を予定しています。また改めてホームページ、広報誌「ばれっと」などでお知らせしてまいります。

それでは、これもちまして、令和元年度第1回利用者懇談会を閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。



—了—